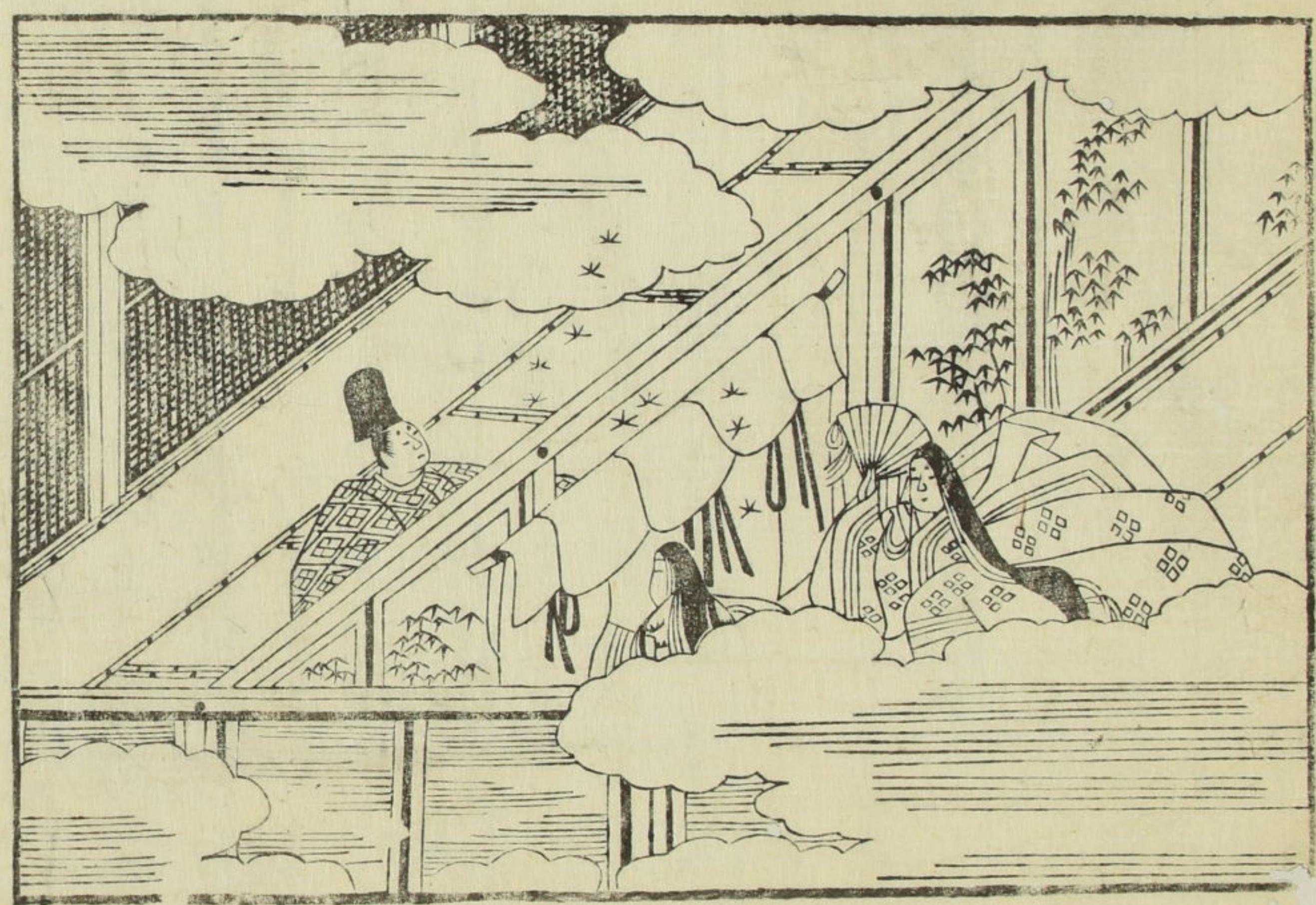


まうのあくまうまぞの絶
アムハヤマモトホシカヘーを
ゲスルとくすれはるかに
ドレムスルとくすれはるかに
えんとくまわりき語ありか
とのわが娘ゑみがくへもとそ
さはまくわり。うそわらひゆ
ことかくわりとやまとばり先やう
あぬゑみがくゑあまする程。さうと
けもひすくわがとれかききれ
ひじえあるぬすのやうの
こまうり。うみりへじくわ
てと金そくあみりへじくわ
ばくたれもわれおのりとさ
とみあふ程。かくまくわりてか

ウツヅれどほのうちむろえんか
あとのまももあぐもほのう
あきどぞじやうへうかうつよ
ざれ、あくうつよとわざわざと
げふわせどほのうこう
なぐれをやくぬ出のやびれ
人ふるよれゆうねはがくまう
あやとやくみゆうのゆく下
とだひすくえんとれらげくまえ
とくとくうとくとく
ひくまくわくわくま

あはれとあはれと見えなつて。かう代
うへもだつてほよされど。まうる
うとあかみくも。まく。
トくらみとえとくも。すき
しとあうが生ばゆす。いをわき
で。うみのやまとくも。まく。ねれ
ねふく出あひぬ時も。あど必ずち
かたぐり。うきなれどえとき
をそめ。けもひかどのをあう
し。う。いとくねどえとき。まく。ま
くとくとくとくとくとくとくとくとく
め。おもざらと。まくひかひ。け
もひととく。あくと。まくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく



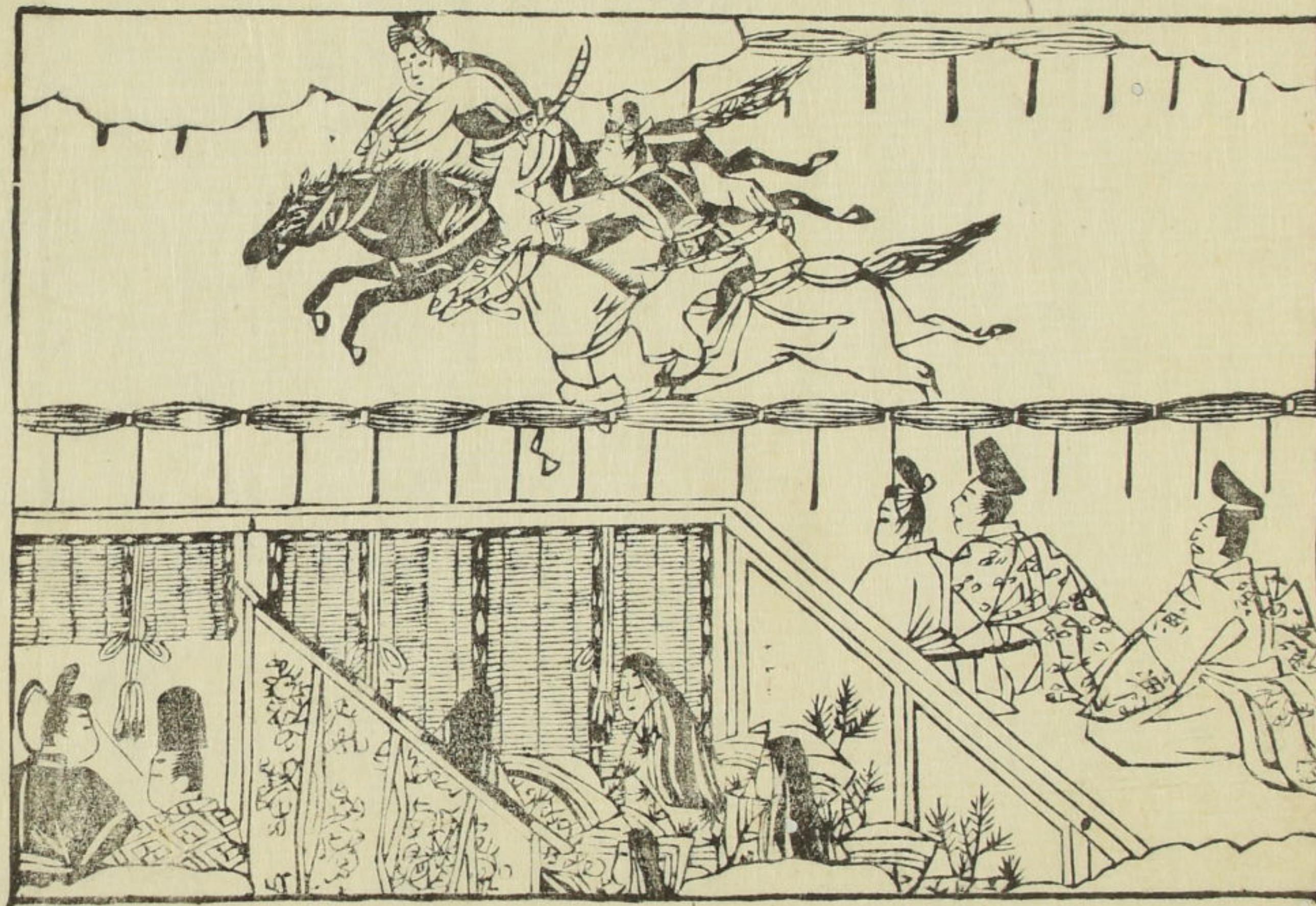
さ處もやうなふらうかほ
がおじくあがなくもわく。今る
ゑもぬそばゆに世がうみやす
んとわざくもがくわむせん
まくゆげあれまか。見
めもととれどもがくうれ
さるゆきなま中まあるい
あるとやかひまくかふとふ
まくとくまくすみえうこうか
うかとくまくすみえうこうか
をみてよづりこそ。わくまわ
くもくえゆもねと。のよび人の
まくしきぢく。うちもくわくと
くらひあびぐまた。わくく人
まくつけば。ひかひかひかひか
かあど。うひまくすみえうこう

ごくおどりやつて。まくすまく
やがくう。おもよひまどのがれと。よ
うがくつゆで。はくう。うふ
ぞや。うがくおやつ。うし。うく
ら。うき。う。う。う。う。う。う。
あく。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。

の爲よりみとまほどをうづき
うそ人びやくざわびてわひとよ
やたのじくせんじゆわう度人れ
ゆうとうりや。せんじくれふと
うそまどとひゆべおもんと
れりこかうら黒の地にわんと
びあどやくにわくとくらは
ぐらよまわゆりにうけとくと
まめとくあともとのゆま枝が
ゑわく。まくへをはくとくさ
まくとくぶくとくのわくあくわ
ゆすりくとくとくあわくわ
ゆのまくわくわくわくわ
ゆのまくわくわくわくわ
ゆのまくわくわくわくわ

山
女ひあひのわやりをあくぬとあれと。
舍人ともえんあうさうぞくさ
うて、男をあげるか。とそりき
ひととひはそれりかうき。南の町
もどどてどあくとわきば。わふ
とあもうかせりんがみう。
か迷樂納蘋利あとわきびてか
ちまけのらんさうとのあるもよ
入そく。何ぞとくとくとくとくとく
アミの孫。ちかくはりづくとくとく
て。ぐぐがわきこめいねねとくとく
たれのこわりぬ。あくとくとくとく
えあひて。おとくとくとくとくとく
あよかくとくとくとくとくとくとく
をとくとくとくとくとくとくとく
わくわくとくとくとくとくとくとく

トスノ



おれもうらへあふらへよすふと
えいわづぬまやわんとみえ
とくとくわりてその経つと今
のむづびともあま
あまこととておひとせがな
そりまあれそめそと夏はひう
しぐりゆふうこすまやるそもぞ
もくゆあひ年とびうちと
よひゆあひ年とびうちと
ひゆあひ年とびうちと
つゆとくろをこのまくわせ

そのこゑをすまぬ事とお
もろ行のややうにいはば
どちらへゆきかとおもう
ことあるわゆれども

原
もとよりぞくれりびとあづかう
わいそちなれひとをすらやが霜
乃角ごそあつやうまれどがてえ
きうれこちやすくそわれとあえ
かまきとあれどがとあれにあれもろ
金縫がまきがまきまとあれや
ゆふりとくばゆづくやまきあて
あんすらとほいとありすくぶ
あんすらとほいとありすくぶ
べくまきべああぐらあくまきく
さくまきの年五月五日あくまきく
さくまきの年五月五日あくまきく
さくまきの年五月五日あくまきく

のとくとくわたりてやあめひて。
娘のゆきとてまりかす。西のまゝ
きてやづくとてゆきとてのむら
あまこはめきうとてみゆとものもがへ
とづくとてぬわりんあまくわりく
まくふやづくとてあうもとものうかづ
ぬくとてやゆあやびひわゆくろ中
あやづくとてのやうあくとてうくろ
とみくとてのれやゆのきわ
くちくんあうひくちくのそよまのせ
背えをあくとてくちくのそよまのせ
のうくとてくちくのそよまのせ
うぐんぐんとくちくのそよまのせ
経験あくとてくちくのそよまのせ
里うぶあよまれねがふむく
女をうくとてくちくのそよまのせ

くされどかとわすれや。わく
まちかどもあうべ。このうちむれ
きくゑせどもかどもは、まだよまする
ときあらゆりが、むれじ
よあざれ。そくにとくもれ
あらゆりをもれ、ひ等を
もびゆきとさくもわく、その又
もげふ花もろきをくふんや。まこ
ざるにさくらのやくもゆ、ひまこ
とくももひゆくとくれ、私と
とくやうゑべ隣りたまもまえが
とくとりあ。代よりせいかわくと
とくやくとくけりかくと、日か裏か
とくみかくちくとくとくわ
めとくわくひねまくとくとくわ

そひあまう者のむとみる
ちよともどりうみざくもひなべ
うたうれ佛のよもじくそそ
ひれとのあざわらをゆびけ
ともがゆくとくもゆりけし
娘まごくらもく

西
かくもくわとくざれどくまがあり
くちげせひくわねのくは。也
かくもくざれどくざれどくま
えざれかすがくとくま也
まくまくかくとくま也
まくまくかくとくま也

の事もつゝよどびりてやがれひそ
ごくあわや。まほの物鏡の
あそわぬ。眉
まくらんとちいれやまのあふ
あそびの林。あやめをす
えぬが。先に紫雲へと青霞
きくとらはいづるひざれうちま
とおあじうづくのとき
今朝ぞうれとまくま生きあたげ
あじひむけ。おもとまくのうち
ゆううん。おもとまくのうち
そみもくらまくらのむのとせ
かねたう。よくわくほどうこ
とくあまくとまれけり。ま
くらめくとく

とまくわくひわくもむきこ
そまのくわくまだゆはくと
くわくもあざくらうくも。ひく
くの中ひげふくみえくわく
をくじくこもづりすくくわくたく。
くよくくわくよくくくわく
あくじくの娘もくもんつまきかく
まくじくもくづよまくのく
くもくのくもくびくあれ。青やく
れがくよしくとくえくよくく
タタかくのくを。絆かくあくくをく
中情のくくく。あかく
もくあくやくかくもく娘もくか
くもく。あくちくくくく
をくく。あくちくくくく

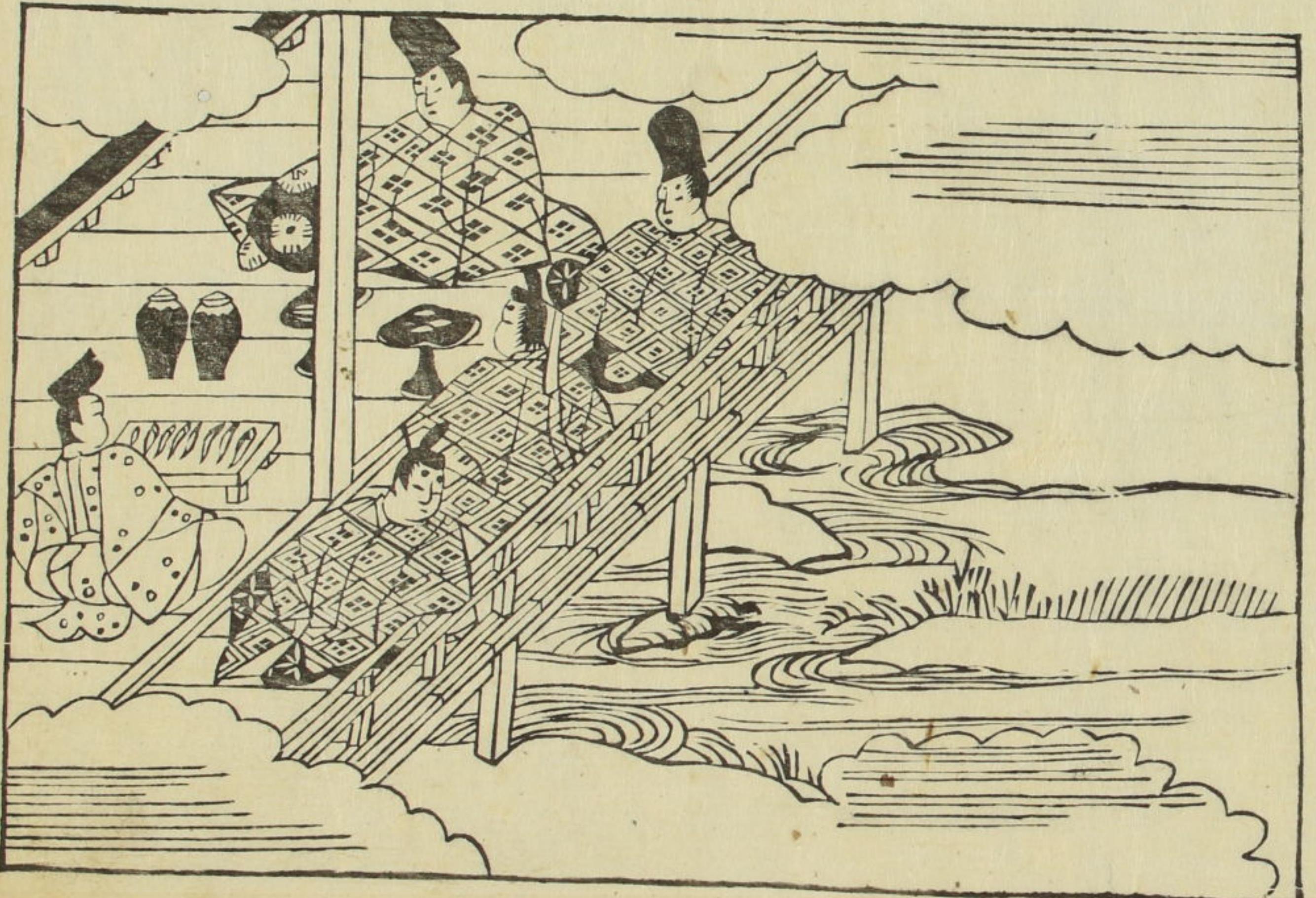
とをわか。とあれどがくんと
うへやへれもうへてひもあらと
だへそ。そりうちそそがゆふれと
せんざきのをみあそねりのうすのうそくゆく
ゆうびのよんのや房のゆへに
ほりす。わまくもむとぬかうひそ。
ゆもじく。じくやまく
おびくのゆくわあざとじく
くまくまくとく。ゆくをれ。
うくやすくまく。ゆづまく。ゆく
ゆくもあむかわむびかくのけ
もむくもももぶみくまくとく
うくびとく。とくもうく月のまく
ゆくゆくまく。ひあみのまくあ
く。ゆくゆく。ゆくゆく。ゆく
ゆくゆく。ゆくゆく。ゆくゆく

さうりひく。秋のんへもくもく。じる
げたり。と。りああ。ざざめく。
あそと。まく。やまと。つとん。わ。い。
ふく。めもく。ま。じ。うら。ま。け。
しらひ。ね。と。の。わ。あ。一。き。
まあ。も。ざ。や。よ。ん。ど。ま。か
く。も。や。あ。こ。と。も。い。お。
く。ふ。か。ま。き。ま。を。ゆ。く。
あ。す。く。わ。が。く。と。め。よ。ん。す。み
よ。ま。と。そ。ぎ。よ。き。と。も。が。
う。中。に。そ。ひ。う。く。と。も。が。
て。の。う。は。ゆ。か。か。ぐ。人。今。う。う。れ
あ。う。ひ。を。そ。と。が。も。と。あ。う。る
う。か。わ。の。く。ま。わ。い。む。と。じ。あ
く。あ。こ。の。う。れ。そ。と。き。よ。

かひか。やまとがとくにさわる。
うつむきのひきかとくまわる。
あそびさうづきかみかみをも
よ致おゆきとくをうかがふと
ゆきかはりかまくらめく。
かひじづきわもろ物めと
金をさしきよ。年はくわふをあ
らきのぬけと人のぬけ
やくせんやとくえりれも
ごひんのまよ水こくかく
くづちとあわんかどく

の
一
な
め

後漢書卷六月ノナ者
六条院



の。かくぞう。ざくら。よ
れや。ひ。すこし。
さくよ。や。と。いわ
き。あめ。く。せき。
わ。きり。あ。ま。な
う。ほ。と。か。ざ。く
さ。ふ。て。と。の。ま
く。あ。づ。り。と
も。と。と。と。と。
そ。と。あ。と。と。
と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。

蒙古文手稿

らくまよておとひしをうと
きくすあどらのうりがく
のせうわやつ。さとくづ
すまちくひづ。りびくす
すくまか。さるすばく
じきまづか。あうちゆでじ
きくまよく。さくまくらぬき
たう。さうざれんじづく
けめかくしてれられよじ
あらせくよく。せちにせ
きと。けのゆのよいがゆ
よ素人ときりげ。うつむきよ
のよ。せきわじがとよ。

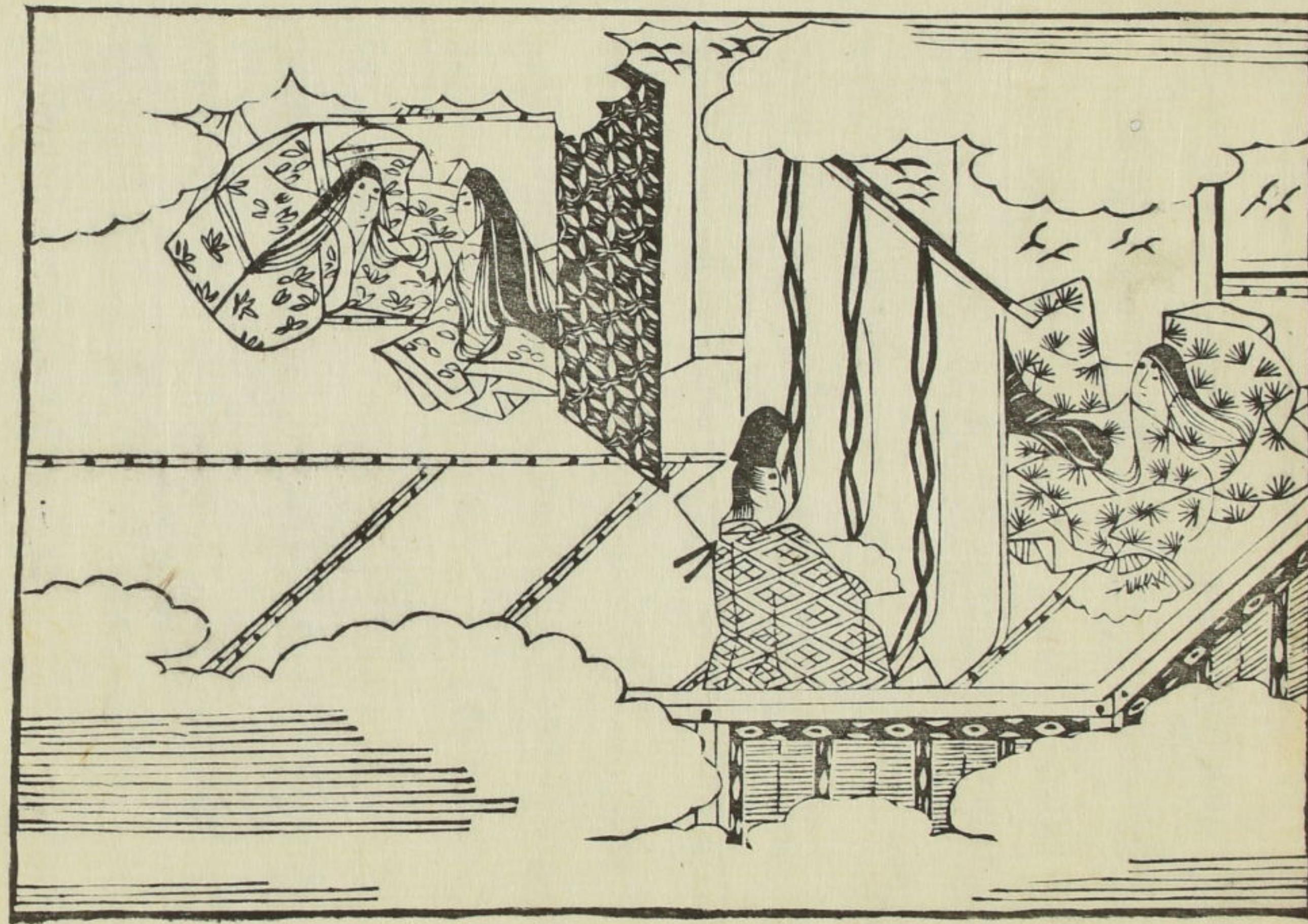
とうまくこそ。もしかれあらず。まう
もしゆきあつた。まくとくとりやと
心りよるよこののゆき。うちもと。
ちゆうぬびりよりて。いづく風の
おせかみよ。うひひ
おうかくよ。う風やさぎよと。
うらげり。ういきて。うて。うて。
うの人のうよひ。うる
月を咲さず。うぐらう
うやま。うぐらう
う例のうれし。うえ
うす。うとあう。うじん。うも
ううりゆうう。ううで。うう
うのうをう。うう。うう
うとし。うう。うう
うがうりゆう。うう

かがりのまゝで、さういふのまゝで、
かまくらわざれきり

西
うきよのとくあつて、
かわらのうきよとくやさざり。
あひのとくあづけ、
さざれとくあづけ。

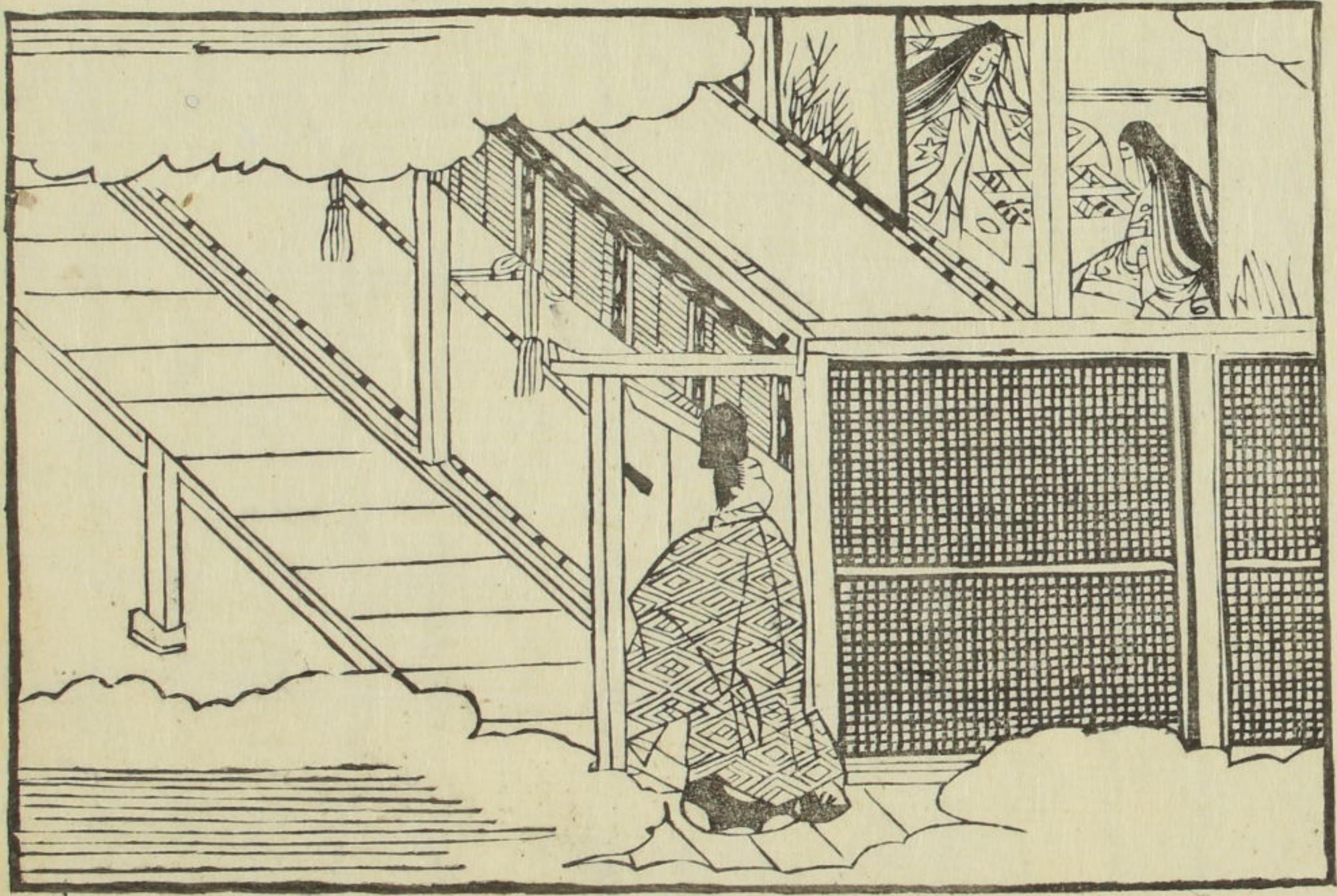
のふ。^王 あらうめぐらすて
ひづのうみぬよかひすて
地よりのねびて とれわるゆ
あひよるまき かのじつて
ひよつさき けやうり.
ほしきらむじよひきて.
ひよくかくはうへまでれ
えきじくわき うかくわくと
まくわくわくわく がくわくわく
くわくわくわくわく がくわくわく

物の事なるをかうへり。すなはち
まことにかくやうかと。まことに
のつるむにあらぬふれいゆの。
うりゆく。くわらへゆきゆうであ
れ。せきがとひよ。やうひにて
うらむすすきゆきゆう。やく
うらむすすきゆきゆう。やく
く見ゆゆで。がくのうのうゆ
のうゆうてゆゆもあ。ゆ
くくおううげゆく。ゆでがま
くくおううげゆく。あねりき
きく。おうくのうくのうくの
うく。おうくのうくのうくの



まよひ。かくすらとひまくで、さうしておちり
て、いとおもむりて、あらわしだす。望
をうそふをうりしよと、今がそ
めうよしゆうがうて、つゝ、うづ
うきをねゆえきどぐのゆう
がつまうて、えらはりて、うりぬ
うぼ。ゆゑあひか乃春のゆうを、ま
をうちまよひくわせて、今
そまうとて、うき
く。おぐかくまくまく
うめくわあじゆとようづ
うあるひ、人のゆきすたよみ
し。やのゆきよまよ、うりゆく。
うちとのゆのよびひよする

いはくまづか。おがけそとを
立あらひよ。わがまきふるを
柏木にさへりて。まきうらを
さへりて。のぞむにぞりのすゑ
さへりあど。わづかにぞりのすゑ
さへりあど。わづかにぞりのすゑ
人の心がくらむやうで。ひらきゆ
をきめれど。すれど。ざみやうのぞ
がきしむまこと。ざれど。ざりて。
あくたまくらむやうだ。とくとくを
ちよきりて。せう。白
りよあそび。いはくまづか。おが
てとがれて。はよの人のおは
きよ。てうふせり。おとづれを
のひよ。めぐらす。さくじのあく
やひふとみづれを。さくじのあく



まくらをさへゆきどんとおせう
めおのへややつてそりよもづくま
つりうとまえきひかみゆうじゆ
そでぢりいきてみうくわぬ
やくかうりくもくよあつるおや
げくざひくあうばるゆめのゆ
しらとまのゆきとくせ
やまかくわくとくとくとくとくとく
あひとにまゆゆめゆくとくとくとく
一時よこゆのつむくとくとくとく
ゆめほすのびうとくとくとくとく
のうがよゆりけむとゆのとくとく
おゆくわゆくとくとくとくとくとく
やあゆくとくとくとくとくとくとく

ソラ つぶくへそて やの のから
つま もうとのきとと いは
わま いふよのとと
あゆ あゆきらをひと
いふ あゆきよ うじて みちが
つま つまひき いゆきは
あゆ あゆきや つまひき
の よ

